

○理由等の記述欄

2－2：医師の派遣はどのように決定しているか教えてください。

2－3：派遣先を決定するときに重視することは何ですか。（複数選択可）

☐	地域の医療ニーズ（地域偏在、診療科偏在の解消）
☐	関連病院であること
☐	派遣する医師の希望
☐	派遣する医師のキャリアパス
☐	派遣先病院の援助・サポート体制
☐	派遣先病院の勤務環境（勤務時間、宿直室の状況等）
☐	派遣先病院の給与負担の有無
☐	派遣先病院の給与支給額
☐	その他（具体的に御記入ください。）

2－4：派遣にあたり、派遣先病院に確認することとしている項目を教えてください。（複数選択可）

☐	必要な派遣医師の人数
☐	派遣医師を必要とする時期
☐	派遣医師の勤務形態（勤務日、勤務時間、宿直の予定等）
☐	派遣先病院の給与負担の有無
☐	派遣先病院の給与支給額
☐	派遣医師の居住場所
☐	派遣医師を求める理由
☐	派遣先病院における医師派遣の受け入れ状況
☐	その他（具体的に御記入ください。）

2－5：現行の派遣制度の課題と考えることは何ですか。

2－6：特定機能病院のみ御回答ください。この度、特定機能病院の承認要件が見直され、「地域への一定の人的協力を行うこと」が追加されました（別添通知）。国は、「「地域への一定の人的協力を行うこと」にあたっては、都道府県と連携することが望ましい。」「医師少数区域に対して優先的に人的協力を行うこと」等としています。特定機能病院の承認要件となった地域への人的協力をどのように進めていく予定か、現在検討していることがあれば、教えてください。既存資料があれば、その資料の提出を持って回答としていただいても結構です。

2－7：特定機能病院のみ御回答ください。特定機能病院の承認要件が見直され、「地域への一定の人的協力を行うこと」が追加されたことを踏まえ、都においても、特定機能病院と連携（パートナーシップ協定の締結等）した医師少数区域への医師の派遣を検討したいと考えております。都と連携した医師の派遣について御意見があればお願いします。なお、本件については、別途、意見交換もさせていただきたいと考えております。

2－8：特定機能病院のみ御回答ください。東京都以外の道府県と特定機能病院の承認要件における医師の派遣について検討を行っている場合、その道府県と検討状況を可能な範囲で教えてください。

道府県名	検討状況（検討開始時期、派遣実施予定時期、派遣予定人数、調整方法等）

【3】文部科学省「大学病院機能強化推進事業」において事業が採択された大学病院にお聞きます。

3－1：「大学病院機能強化推進事業」において、大学や自治体等の関係機関のトップが参画する協議の場の設置に関する方向性を示すことが申請要件となっていますが、その協議の場について、申請内容に組み込んだ内容を教えてください。申請資料等、既存資料があれば、その資料の提出を持って回答としていただいても結構です。

【4】診療科偏在についてお聞きます。

4－1：現在不足している、又は今後不足が懸念される診療科はありますか。

(回答)

⇒回答が「ある」の場合は、【設問4－1－1】△

ある

4－1－1：4－1で「ある」と回答した方にお聞きます。現在不足している、又は今後不足が懸念される診療科（専門研修の基本領域）は何ですか。深刻と考える順に、その理由もあわせて教えてください。

深刻さの順位	診療科	（もしあれば）サブスペシャルティ領域	現在不足している、又は今後不足が懸念される理由
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
6位			

4－2：現在都では、産婦人科、救急科、小児科の医師確保対策に取り組んでいます。また、外科、総合診療科は全国で専攻医のシーリング対象外（病理・検査を除く）となっています。これらの診療科の希望者を増やすために必要な対策は何だと思いますか。診療科別にお答えください。（複数回答可）また、4－1－1の1位～3位に、産婦人科、救急科、小児科、外科、総合診療科以外を回答した場合、回答した診療科の希望者を増やすために必要な対策についてもお答えください。

(1) 産婦人科

☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定
☐	その他（具体的に御記入ください。）

(2) 救急科

☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定
☐	その他（具体的に御記入ください。）

(3) 小児科

☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定
☐	その他（具体的に御記入ください。）

(4) 外科

☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定
☐	その他（具体的に御記入ください。）

(5) 総合診療科

☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定
☐	その他（具体的に御記入ください。）

(6) 以下は、4－1－1の1位～3位に、産婦人科、救急科、小児科、外科、総合診療科以外を回答した場合にご記入下さい。

1位	診療科	
☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）	
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）	
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定	
☐	その他（具体的に御記入ください。）	

2位	診療科	
☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）	
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）	
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定	
☐	その他（具体的に御記入ください。）	

3位	診療科	
☐	専門研修プログラムの改善（具体的に御記入ください。）	
☐	勤務環境の改善（具体的に御記入ください。）	
☐	他の診療科よりも診療報酬を高く設定	
☐	その他（具体的に御記入ください。）	

4－3：その他、診療科偏在を解決するために必要だと考える対策は何ですか。大学（例：各診療科の魅力を伝える）、病院（例：診療科に偏らないワークライフバランス確保）、行政（例：勤務環境改善への支援）それぞれについて、教えてください。

対象	診療科偏在を是正するために必要な対策
大学	
病院	
行政	

【5】都が実施している「東京都地域医療支援ドクター」についてお聞きます。

(参考)「東京都地域医療支援ドクター」概要→東京都地域医療支援ドクター事業|その他の医療対策|東京都保健医療局

5－1：地域医療支援ドクターを知っていますか。

(回答)

5－2：地域医療支援ドクターの応募者を増やすには、どのような周知方法が効果的と考えますか。

(参考) 現在実施している周知方法
・広報東京都、月刊福祉保健への募集掲載
・ホームページへの募集掲載
・チラシの作成（医師アカデミーを通して各都立病院へ通知）
・保健医療局X（旧Twitter）への掲載
・医師奨学金被貸与者への情報提供
・地域医療支援ドクターへ知人紹介依頼

5－3：地域医療支援ドクターについて、医師に勧めますか。その理由もあわせて教えてください。

☐	勧める（具体的な理由を教えてください。）
☐	勧めない（具体的な理由を教えてください。）

質問は以上です。
御協力ありがとうございました。